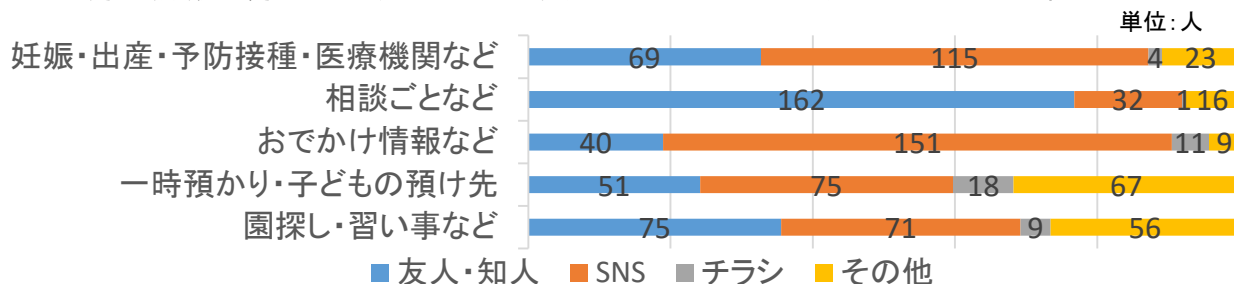


2023年度 港北区地域子育て支援拠点どろっぴ・どろっぴサテライト 利用者アンケート結果

実施期間：2024年1月
 回答数：211（大倉山：104 / サテライト：107）

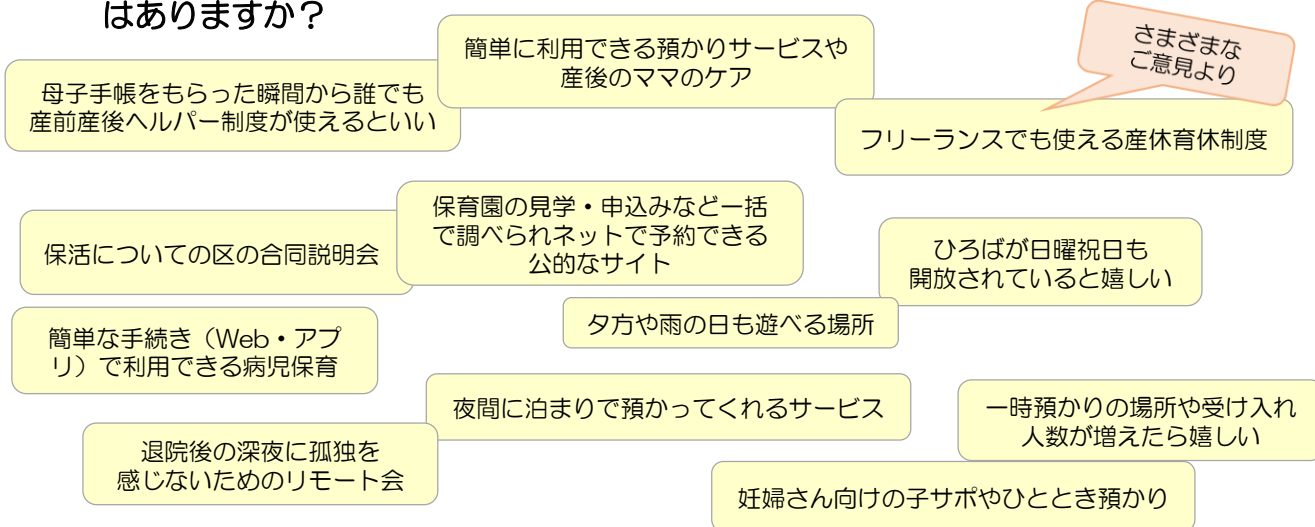
利用者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。皆さんからいただいた貴重なご意見は、今後の運営に活かしていけるよう、スタッフ、港北区役所、関係機関、そして利用される皆さんと一緒に、検討する際の参考情報とさせていただきます。

Q；子育て情報を得るとき、もっとも利用している方法を教えてください。



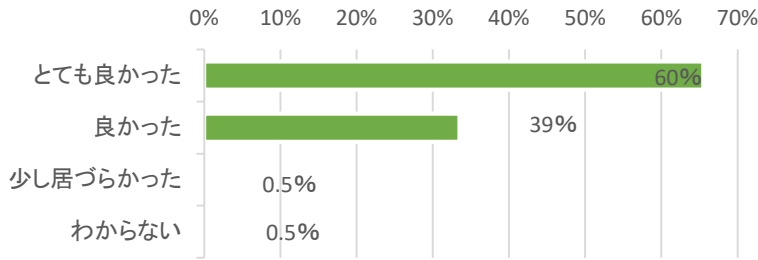
すぐに調べられるSNSは本当に便利なので『おでかけ情報』は圧倒的にSNSが多い一方、『一時預かり・子どもの預け先』はSNSと同じくらい友人・知人からの情報も頼りにしている方が多いようです。『相談ごと』は約8割の方が友人・知人と答えており、『園探し・習い事など』と同様に身近な人から直接聞く情報が安心できる様子が見えます。チラシからの情報を得る人は少数ですが、ひろばではチラシを掲示して情報を提供しています。

Q；産前から今まで、あったらいいなと思うもの（制度やサービス・情報など） はありますか？



いろいろなご意見の中で産前産後のケアについて関心の高さが見られました。自身の体調やメンタルのケアに加え、母子での入院や泊まりでの預かりなどの需要もあるようです。ひろばや遊び場所について、夕方・夜間に開いている施設があったらというご意見もありました。預かりに関しては、気軽に・当日でも預けられると助かるという声があり、預かり人数や場所が増えることと併せて需要の高さを感じました。一方、退院後から孤独感を感じることなく、子育てがスタートできるよう、さまざまなイベントを求める声もありました。保育園についての情報はまだまだ分かりづらいようです。これからも利用者さんの声を聞かせていただきながら、すでにあるサービスも含めて分かりやすい情報の提供と、ひろばに求めているものを皆さんと一緒に対話しながら実現できるように努力していきたいと思っております。

Q；どろっぷの居心地はいかがですか？



気さくに話してくれる 安心感

みんなで子育てをしている感じ

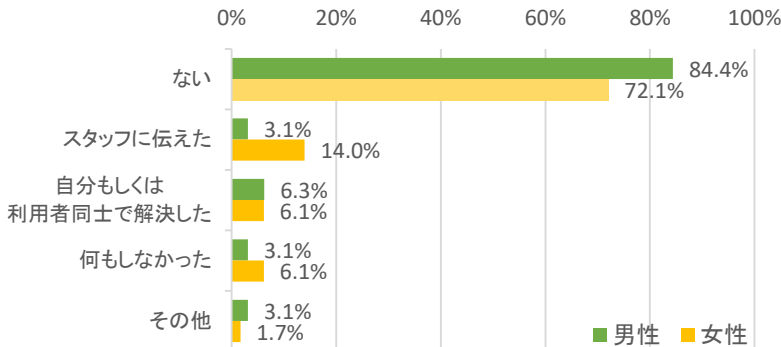
子どもがのびのび遊んでいる

子ども同士の交流・他の方との交流

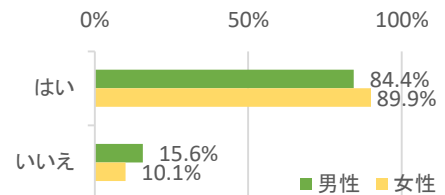
場に入りやすい ほどよく話せる ちょうど良い距離感
のんびり過ごせる 一人でいても気楽

相手との「距離感」に関わるワードが多く挙がりました。
居心地の良い距離感はその日・その時によって人それぞれですね。
交流しても良いし、のんびりしても大丈夫。子どもも親もありのままで過ごせる
ひろばをこれからも目指したいと思います。

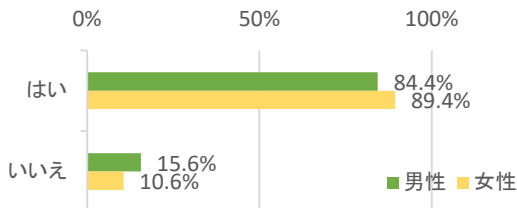
Q；どろっぷにいる時に 困ったことはありますか？



Q；どろっぷにいる時 「手を貸してほしい」と 周りにいる人をお願い できますか？



Q；どろっぷで周りにいる人が困っていたら 「手伝おうか」と声をかけられますか？

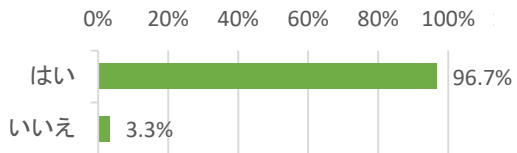


ごはんの準備、帰り支度やトイレの間、
子どもを見てほしい

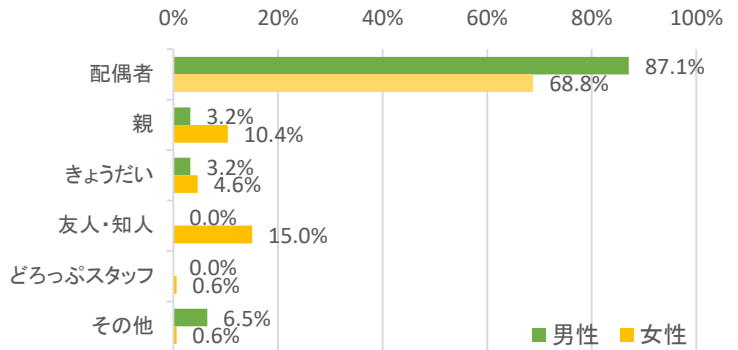
自分の子で手いっぱいのため、声をかけられない
自分の子どもより大きいと接し方がわからない
声をかけていいのか迷う

困ったことがあっても、多数の方が「手を貸してほしい」と周りをお願いできると回答してくださっていますが、「いいえ」と回答した方からは声をかけにくい気持ちがあることがうかがえました。一方で、「手伝おうか」と声をかけることができる方は約9割いて、力になりたい人もひろばにたくさんいることが分かります。ひろばで遊んでいる時に他の子の遊び方に戸惑ったという声もありました。様々な年齢でひろばを楽しむためにみんなでお互いに見守り合いたいと考えています。何か気づいたり、手を貸してほしい時にはスタッフ、ボランティアだけではなく、先輩家庭や近くにいる方にも声を気軽にかけてください。困ったときはお互い様、声をかけ合い周りの力を借りながらみんなで育てるひろばにしていきたいと考えています。

Q：育児に関して相談相手はいますか？

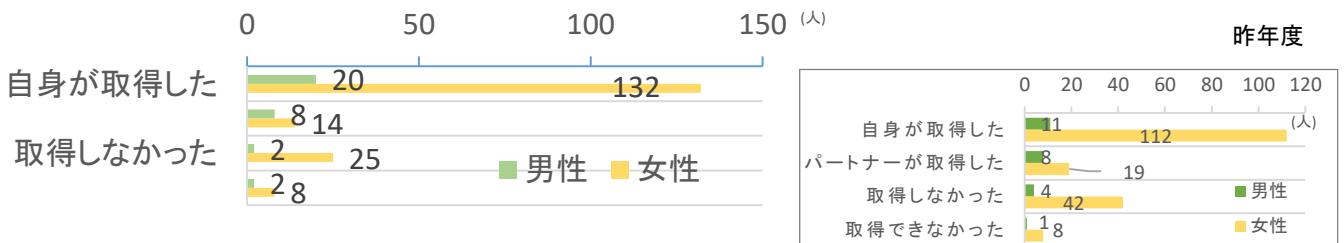


Q：一番よく相談する相手は誰ですか？

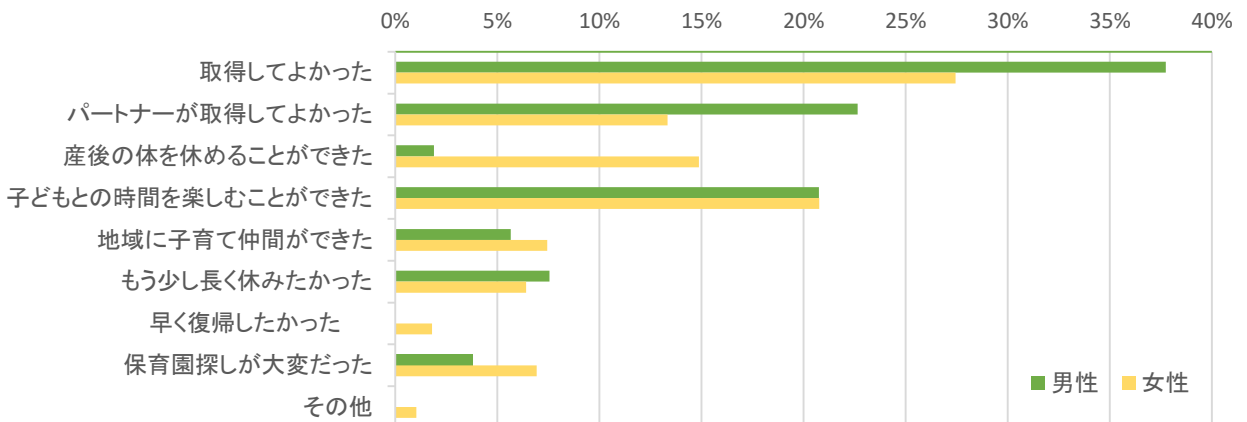


相談相手がない比率は昨年から大幅に減り、みなさん相談ができてきている様子うかがえます。相談相手があると答えてくれた人の中では、父親はパートナーを相談相手にしている人が多く、性別による違いが見られました。ひろばではスタッフや、相談専任スタッフの横浜子育てパートナーがいますので気軽に声をかけてください。今回父親からは、友人知人を相談相手に選ぶ人がいませんでした。父親などにむけたプログラムもありますので、参加してみてくださいね。

Q：育児休業（休暇）を取りましたか？

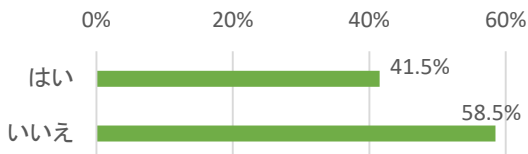


Q：育児休業（休暇）を取得してどのように感じましたか？ （「自身／パートナーが取得した」方のみ、延べ）

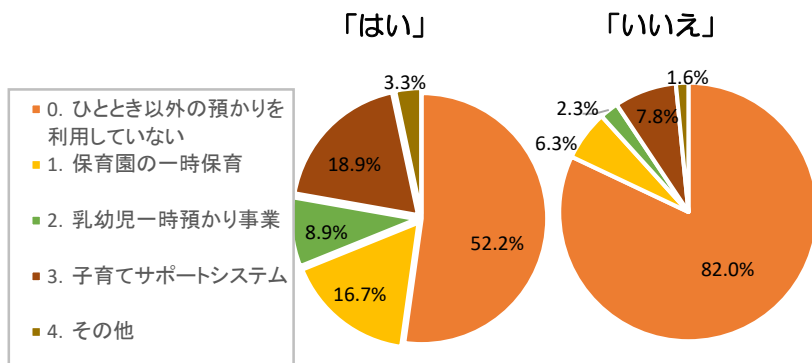


2022年度の法改正により、男性も育児休業(休暇)を取得しやすい環境が整備されてきました。男女ともに育休を取る人が増えていることが読み取れます。週末は特に、父親と一緒に来館する姿も多くみられるようになりました。育休は短い期間ですが、親子と一緒に過ごし愛着を育む大切な時間になりますね。地域に一歩踏み出して多様な世代の方々を見守り合いながら、いろいろな人の手を借りて子育てが出来たらと思います。

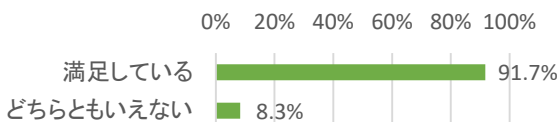
Q：「ひととき預かり」を利用していますか？



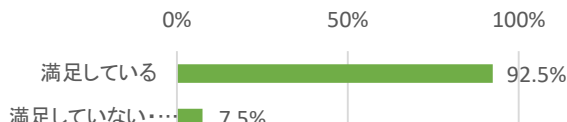
Q：他の一時預かり等を利用していますか？



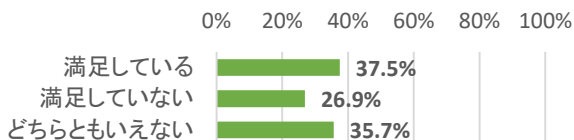
Q：預かり中の子どもの過ごし方について



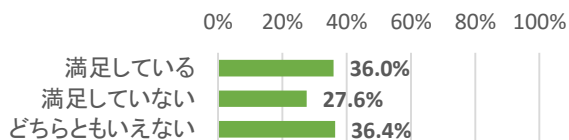
Q：金額について



Q：予約方法について

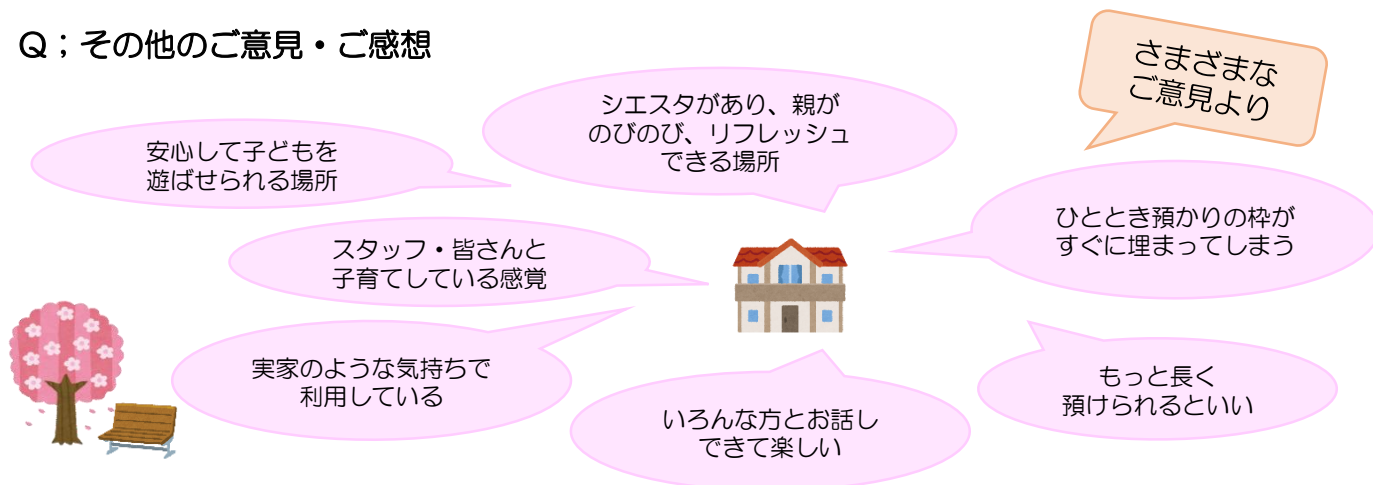


Q：預かり日数、時間について



ひととき預かりを利用している人の約半数が他の預かりも利用しているという結果が出ました。一方何も利用していない人が多くいることもわかりました。ひととき預かりの予約方法、預かり日数・時間については満足とは言えない結果が出ています。日数、時間共にもっと多く利用したいという声がある中、お応えできていないのが現状です。なるべく多くの方に利用していただきたいという思いがあるため、子育てサポートシステムとの併用などの提案もしていますのでご相談ください。

Q：その他のご意見・ご感想



子どもを安心して遊ばせられ、親も楽しく過ごせる場所、と感じてくださる方が多くスタッフとしては嬉しいです。環境面ではボランティアさんの存在は大きく、お庭の手入れ、おもちゃの修理などいつもさりげなく関わってくださっています。また、遊び相手、話し相手としても子どもたちだけでなく親御さんからも大人気です。どろっぷは子どもを真ん中にしてみんなで子育てができる環境づくりを目指しています。もっとこうしたら、などの声をいただきながらより過ごしやすいひろばをみんなで作っていきたいと思います。